

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujoho@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)
FAX63-5139



今月の表紙は、9月16日(水)に坂崎小学校の田んぼで行われた稲刈りの写真です。たわわに実った稲の穂を、5年生21人が保護者と力を合わせて、かまで刈りました。ほとんどの児童は稲を刈ったことがありませんでしたが、次第に慣れてたくさん刈ることができました。

今月の表紙



大正琴

大正琴はその名が示すように、大正元年、日本で開発された楽器で、名古屋が発祥の地とされています。大正琴を奏でたときの哀愁に満ちた音色に魅せられて習い始めて幾年月、童謡、歌謡曲、民謡、邦楽など、いろいろな曲を勉強します。難しい曲もあり大変ですが、習得したときには一層の喜びを感じます。

大正琴は生活の中での一部分を占めており、本当に良き友達だと思っています。私たちの会は独自の発表会を行ってはおりません

が、文化祭、福祉センターの慰問、地域での催し物に参加するなど、少しでも良き演奏をと思い、練習に励んでいます。

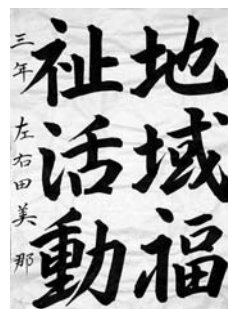
和やかな雰囲気の中での練習、それが心の豊かさを養い、生活の中に一筋の光を与えてくれるならばと思い、教室づくりを大切にしていきたいと思っています。このような会ですが皆さんの入会をお待ちしています。

問合せ 浅井カナヘ
☎62-4603

サークル紹介

この指とまれ

115



【書道】

南部中3年 左田美那 さん

みんなの作品展!

今月の作品は、幸田学童書道展からのセレクトです。



【書道】

中央小5年 品川雅 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

田川町の言葉

「けったくる」

健康の秋。夫婦仲良くウォーキングなんて、素敵ですね……

「よいいわんわ。おれがいこかんと、おっかーがけったくるもんだん……」

「とんでもないよ。私が動かないと、家内がけっ飛ばすから……」
という意味です。

「けったくる」は、「けたくる」ともいうように、「け(蹴)りたくる」の転です。しかし、この地方では、存分にけるといふより、強くける程度で、「けっからかす」よりも強めにけるときに使われます。

この地方では、自転車を「ケッタ」といいますが、自転車はペダルをけったくって進むことから「けったくりマシン」、略して「ケッタ」となったのだそうです。なお、相撲の決まり手に「蹴(け)手繰り」があります。似てはいますが、読みも意味も「けたくり」ではありません。

日頃のウォーキングも、地域の安全に貢献していますが、それより家内安全が何よりです。

(文・つるぎ)



青春トークリレー

△△第199走者△△

いとう つばさ
伊藤 翼 さん

大草区在住 25歳 会社員
身長 167cm O型
好きなタイプ 自分の意思がはっきりしている人
好きな芸能人 麻生 久美子
私は、自分がこの25年間住んできた幸田町が大好きです。

近隣の岡崎市や蒲郡市への交通のアクセスが良く、自然も多いので、とても住みやすい町だと思います。
全国的には近年、少子化傾向がありますが、この幸田町、特に私が卒業した幸田小学校は、3クラスから4クラスに増えたと聞き、とてもうれしく思いました。今の温かい雰囲気を残したまま、幸田町は成長して欲しいと思います。
工作上、今後転勤などで慣れ親しんだこの幸田町を離れるときがくるかもしれません。しかし、再び幸田町で暮らしていきたいと思っています。今住んでいる幸田町民の皆さん、これから住む皆さんで、更に温かい町にしていけたらいいですね。



はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。
希望者は企画政策課まで。



「粗大ごみについて」

博士「きょうは『粗大ごみ集積処理場』へやって来たのじゃ。」
Q「わあ、たくさん出てきますね。」
博士「幸田町では、粗大ごみを出せるのは、月に1回、一週間だけじゃ。ただし、11月は休止なのじゃ。出せる日や場所は、『ごみの分け方出し方』や『広報』などで確認してほしいのじゃ。受付時間は、8月〜金曜日 午前9時〜正午、△土日 午前9時〜午後3時（昼1時間除く）なのじゃ。」

Q「何でも出していいんですか？」
博士「出せないものもあるんじゃよ。例えば家電リサイクル品（エアコン、テレビ、冷蔵庫・冷凍庫、洗濯機・衣類乾燥機）、パソコンや農業用機械・資材、事業用のもの、樹木や剪定した枝などじゃ。ほかにいろいろあるので事前に環境課へ問い合わせしてほしいのじゃ。」
出せる大きさは、資源物の分別収集コンテナに入りきらない大きさのものじゃ。分別で出せるものはだめじゃよ。」
Q「粗大ごみを見ているとまだまだ使えそうなものが多いじゃないですか。」
博士「そうじゃ。もったいないのじゃ。」

ないのじゃ!!だから、まだまだ使えそうなものはリユース《再使用》させてもらうのじゃ。修理したり、きれいに磨いたりして、11月の産業まつりなどで必要とする人にリユースしてもらおうのじゃ。」
Q「なるほど。不用品バザーやフリーマーケットも『リユース』になるんですよね。」
博士「そのとおりじゃ。リユースすれば、新たに物を作る時に必要となる資源の節約になるし、作ったり廃棄したりするときに発生するCO₂も削減できるんじゃよ。」
リユースを上手に活用して《地球》にも《お財布》にも優しい生活を送りたいものじゃな。」

最近工アメールで1億円があったりしましたという封筒が届きました。すぐに手数料を振り込まないともうえなくなりました。もちろん処分しました。困ったときは、毎月第4木曜日午後6時から役場で消費生活相談を行っているので相談してください。(R)▽10月から、平成21年度も折り返しに入ります。さまざまなおプレッシャーの日々が追われ、あつという間に半年が過ぎてしまいました。これから夜が長くなる季節なので、自分の時間を大切にしようと思います。(M)

ちと編集者のひびき

▼気が付けばもう10月ですね。年度で考えれば半分が過ぎ、年で考えれば、あと3カ月も終わります。まだ3カ月もあると思わなくっちゃ。毎日を大切にしようと思ってる今日この頃です。

さて今月も5歳の娘との会話を紹介します。娘「ねえーお父さん!」父「なあに?」娘「私、漢字書けるよ。」父「漢字が書けるんだ。」娘「それとね、私ねえ、もう話す言葉は大人なんだよ!」父「…そうだね:(確かに私にかけられる言葉は厳しい!」日増しに成長している娘を頼もしく思います。

夏に痛めたひざはまだ完治していません。ウォーキングに切り替えようかな…